

小野決めた 応援席歓喜

ホッケー女子五輪決定

十勝関係者 平昌にも期待

平昌五輪の全競技を通じた日本勢の出場決定第1号となつたアイスホッケー女子のスマイルジャパン。12日に苫小牧市内で行われたドイツとの五輪最終予選最終戦では、フルタイムシステム御影グレッグ(清水)のFW小野粧子選手(35)がゴールを決め、3-1の勝利に貢献し、清水町から応援に駆け付けた大勢の関係者も歓喜に沸いた。同競技で十勝関係選手が五輪本戦に出場したことほなく、小野選手をはじめとした十勝勢の五輪選手誕生に期待が高まっている。

(松村智裕、内形勝也、池谷智也、小寺泰介)



元日本リーガーで御影グレッグのコーチを務める小野選手の夫・豊さん(42)は現地で応援。「ドイツ戦で結果が出て良かつた」と喜ぶ。大会期間中はほとんど連絡を取り合っていないが、11日のフランス戦後に「あまりプレーが良くなかつたから」と無料通信アプリ「LINE」でアドバイスを送ったという。2009年の結婚後、清

水町御影に移住。豊さんはスランプ時に助言するなどサポートし、「東京にいたときより精神面が強くなり、プレーも向上した」と話す。「今後も本人がやりたいことを手伝うだけ。夢見てる五輪代表をつかんでほしい」とエールを送る。小野選手が勤務するそば店「紀山」(清水町御影、芽室の2店舗)の太田博樹代表(48)も会場で勝利の

五輪最終予選の日本一ドイツ戦の第2ピリオド、貴重な追加点を挙げて抱き合って喜ぶ小野粧子選手(右)。新井拓海撮影

試合後、観客席に手を振る近藤真衣選手(左)、小野粧子選手(中央)、武田莉奈選手(右)

ずに代表の座をしつかりつかんで、平昌五輪に出場し高の快挙」と期待。「これでもらいたい」と期待を寄せている。

NPO法人清水町アイスホッケー協会の水津栄次郎代表理事(66)は「アイスホッケーの町・清水からオリンピック選手が出れば最高の快挙」と期待。「これを機会に地元のアイスホッケーも盛り上がりがってほしい。清水町で存分に調整できる環境を整えていきたい」と町を挙げての支援体制を約束した。

近藤選手については「ここ2~3年、日本代表に入り、めきめき力をつけてきている。今回の経験でさらに自信を深めただろう」と評価。「2人とも気を抜か

回、GK近藤真衣選手(24)

もメンバー入りし、以前に

所属した武田莉奈選手(24)

もリザーブとして参加す

る。テレビで観戦した同チ

ームの細田秀夫監督(60)

は、小野選手について、「1、

3戦で得点を決めるなど活躍してくれてとてもうれしく思う。スマイルジャパン

では最年長だが、年齢を全

く感じさせない活躍ぶりだ

った」と喜んだ。

御影グレッグからは今

まで以上に柔軟な勤務態勢

で、競技に集中できる環境

も万全にしてくれる」。今

まで以上の柔軟な勤務態勢

を整える考えだ。

御影グレッグからは今

まで以上の柔軟な勤務態勢

を整える考えだ。